



◎文化薫るまち、いずみおおつ。「泉大津市文化フォーラム」 命も、名も、金もいられぬ！ 今求められるサムライ精神

7月は、映画『ラストサムライ』のモデルといわれる明治維新のリーダー、西郷隆盛を取り上げます。政治に携わる者に地位や名声、蓄財とは無縁な「無私の精神」を求め、新国家の進路に中央集権国家より地域の自立を掲げました。入場無料。南海電鉄後援。問合 秘書広報課（市役所4階）

写真上／肥後直熊筆西郷隆盛像部分（鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵）下／西南戦役関係錦絵（鹿児島戦記 田原坂の戦）（鹿児島県立図書館蔵）

●7月7日(日) 「西郷隆盛に学ぶ・繩文人のこころ」 上田篤氏（建築学者、西郷義塾主宰、元大阪大学教授）	ピアホール	1930年大阪府生まれ。京都大学工学部卒。	▽午後2時～3時30分（1時間開場）
△テクスピア大阪テクス	ピアホール	同大学院修士課程修了。専門は建築学、都市計画。工学博士（京都大学）。建設省住宅局技官、京都大学助教授、大阪大学教授などを歴任。NPO法人社叢学会をつくり、鎮守の森の保存運動に努めています。	△テクスピア大阪テクス

建設省時代は千里、多摩、泉州などのニュータウン開発に携わり、京都大学に戻つてからは京都を研究する一方、「歩行者天国」の先駆けとなつた北海道旭川市平和通り買物公園をデザインし、「車に占領されていた道路を人間に返す試み」と大きな話題となりました。

京町家を研究する一方、「歩行者天国」の先駆けとなつた北海道旭川市平和通り買物公園をデザインし、「車に占領されていた道路を人間に返す試み」と大きな話題となりました。大阪万博では、太陽の塔があなたの「お祭り広場」を建築家の丹下健三氏と共同設計し、日本建築学会特別賞を受賞しました。その後も五重塔の構造をわかりやすく説いた著書『五重塔なぜ倒れないか』を出版し、「地震国日本」の宮大工の知恵を高く評価しました。

近年は、縄文文化と西郷隆盛を中心に評論活動に力を入れ、今度の講演会では西郷の考え方、生き方を通じて、日本のるべき姿を考えます。

「明治維新がサムライ精神を失つてしまつたから、多くの日本人が信念と责任感を失い、お金もうけに関心が集まるようになった。西郷は、明治政府の中央集権と富国強兵の軍事大國路線ではなく、地域の自立を優先する考えをもつていた。東京を離れ、鹿児島で試みようとしたのも地方分権の実験だった」と熱く語っています。



市民活動の 輪

連載 Vol.5 「ねころじの会」

地域の猫たちと共に・共生できる

心豊かなまちづくり・暮らしを目指しています

私たちは、小さな命を大切にする、そして地域の猫たちと共に・共生できる心豊かなまちづくり・暮らしを目指しています。

「ねころじの会」は発足してまだ1年足らずであり、当初は地域の猫好きたちの集いから始まりました。その中で「のら猫問題」が浮かび上がりました。糞尿や泣き声による苦情、エサやりさんとのトラブル、またのら猫に対する虐待など…。

私たち「ねころじの会」はTNR（捕獲→不妊去勢手術→元の居場所へ戻す）活動を目的にしております。もともとは、飼い主が捨てたか逃げ出したのが始まりののら猫。その彼らが年間20万匹も殺処分されているそうです。自分たちに責任がないのに、そういう目

にあう猫たちを小さな命として見過ごせないのです。以前、寺の境内に2匹の子猫が捨てられていました。法律では犬猫の遺棄・虐待は犯罪です。その認識のない方々が多いのが悲しい現実です。

こういった活動を「地域猫活動」といいますが、この活動は今や全国的に広がっています。我が泉州の地でもこのシステムを取り入れ、小さな命にも優しい眼差しを向ける真の文化の香りあふれる町づくりを目指しています。※関心のある方は、毎月第1土曜日・午後7時より「南渕寺同朋精舎もやい」にて「ねころじの会」を開いていますので、ご参加お待ちしています。

活動場所 泉大津市神明町6-15 南渕寺内「同朋精舎もやい」

問合 事務局☎32・3970 戸次（べつき）

泉大津でがんばる市民団体を紹介します。



5月、南渕寺本堂前で開催された「第2回ニャンバザー」の様子。収益金はすべて「のら猫達」の不妊去勢手術費用などに充てられます。ご協力ありがとうございました。

かんとうい 貴頭衣デザインコンテスト 作品を募集します！

弥生時代の史跡である池上曾根遺跡で11月に開催予定の農業まつり（JAいずみの主催）の中で、米づくりを始めた弥生時代の人々が着ていたとされる「貴頭衣（かんとうい=頭を通す穴の開いたポンチョのような衣服）」のデザインコンテストを実施します。入賞作品は、ファッションショーの形で発表し、賞品も用意していますので、ぜひご応募ください。

募集期間 7月1日(月)～8月30日(金) (ただし学生の締め切りは9月の始業日)

募集作品条件 自由な発想でデザイン・作製された貴頭衣。素材は一般的に衣類に用いる生地。農業まつり当日にスタッフが終日着用することを想定のこと

募集対象 ①小学生（原則として6年生）②中学生・高校生 ③デザインなど専攻学生 ④一般

募集テーマ テーマは自由。ただし必ず応募用紙にテーマを記入

応募方法など 環境課備え付けの「貴頭衣デザインコンテスト応募要領」を参照

提出・問合 環境課（市役所2階21番窓口）



昨年の「貴頭衣デザインコンテスト」の様子

泉大津市の国際交流



本市は平成4年、市制施行50周年を機にオーストラリアのグレーター・タージローン市と友好都市提携を結び、それ以降交流を続けています。ここでは、本市の国際交流に関する情報をお知らせします。



豪州に向けて出発する川端さん（左）、河井さん（閑空にて）

グレート・オーシャン・ロードマラソンに市民ランナーを派遣しました

オーストラリア・グレーター・タージローン市がスポンサーを務める「グレート・オーシャン・ロードマラソン（毎年5月開催）」に、川端一生さん（池浦町）、河井正夫さん（助松団地）の2人の市民ランナーを派遣しました。

このマラソンのコースとなるグレート・オーシャン・ロードは、ビクトリア州沿岸の全長220kmに及ぶ世界有数の美しいコースです。参加した2人のランナーは、壮大なコースを走り、現地でのホームステイを通じ、地元市民との交流や文化・歴史を体験して両市の友好を深めました。また、7月5日（金）には両ランナーが伊藤市長へ結果報告に訪れます。



泉大津国際交流協会 会員を募集しています！

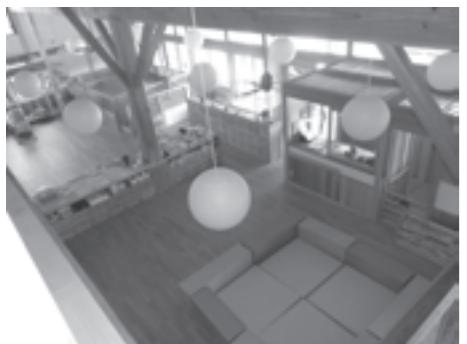
泉大津国際交流協会は、市民単位の国際交流の実現を目指しており、平成24年度はグレーター・タージローン市の中学生との交流、本市出身のJICA（独立行政法人国際協力機構）隊員による活動報告会「幸せの国ブータンからのメッセージ」などを行いました。

同協会は会員の皆さんの会費をもって各種事業を行うこととなっており、目標としている市民単位での国際交流を推進していくためには、皆さんのご理解とご協力が必要です。会員になって、本市における国際交流の推進、国際社会に対応しうる人づくり・まちづくりに参加しませんか。

泉大津国際交流協会について

年会費 ▷個人…1口1,000円 ▷団体・法人…1口1万円

入会申込先・問合 企画調整課（市役所4階）



今後は認定こども園に移行します

6月1日に、くすのき保育所が開所しました。場所は、楠幼稚園敷地内になります。今年度は、0~2歳児の低年齢児対象の保育所ですが、子育て支援の場としても、「赤ちゃんの駅」「マイ保育所制度」など、ひろく利用していただくことが可能です。

また、平成26年度に認定こども園に移行しますので、平成26年度から3~5歳児も入園することができます。



花で「人」の字が描かれています

総合体育館前に、人権啓発推進協議会の役員の皆さん、年2回植替えを行っている壁面花壇があります。花壇には「人権を尊ぶまちづくり条例」の基本理念である、お互いを大切にする心を育み、すべての人が生きがい、思いやりをもって暮らせる真に心豊かな社会の実現を目指すため、人権の大切さを訴え、花で「人」の字が描かれています。



色鮮やかに描かれています

「絵のあるまちづくり」は、景観市民会議「景観人の集い」とあすとホールが主催となり、地域の皆さんと一緒に公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域の子どもたちに景観を「守る心」「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などを目的としています。今回で4回目を迎えるこの取り組みは、春日墓地の壁面をキャンバスに、5月6日から10日と12日の計6日間にわたり、延べ約210人の地域の親子などが参加しました。春日墓地の壁画は2年にわたる大作で、去年に引き続き「大津川から見た泉大津の四季」をテーマに、秋と冬の風物詩を描きました。壁面下部は、親子で描いた昆虫・花・動物などが季節感いっぱい色鮮やかに描かれています。泉大津の新名所となるこの壁画をお近くにお寄りの際は、ぜひご覧ください。なお、この壁画に使用したペイントは、日本ペイント販売株式会社西日本支社近畿支店大阪南営業所から寄贈いただきました。



市役所のことを勉強しました

5月24日、28日、市役所に旭小学校と条南小学校の3年生計7クラスが市役所見学に訪れました。市役所見学の一環として、環境課では「地球温暖化」「ごみの分別」「ペットボトルのリサイクル」について、ミニ講座を実施しました。

まちの話題

Izumiotsu Town Topics



泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



浜街道が大賑わい！！

5月26日に、東浜町・神明町・本町などを南北に走る通称「浜街道」周辺で「浜街道まつり」が開催されました。当日は、昔ながらの毛布工場の倉庫を使ったメイン会場「のこぎりホール」でのミニコンサートや、各寺院では狂言や落語が開催され、各町屋などでアートクラフトや絵画を展示する街角ギャラリーなどさまざまな模擬店がお店、また「こども昔遊び」などの催し物が開催され多くの人が賑わいました。



自分たちのまちを一斉清掃

市では、5月30日の「ごみゼロ」の日にちなみ、6月2日に市内一斉清掃「泉大津市ごみゼロ大作戦」を実施しました。また、臨海地区では、「港湾美化啓発運動」も同時に開催しました。

当団体は、自治会など約60団体、約5,000人が参加、臨海地区では約500人が参加し、日頃みんなが使用する道路や公園・緑道などを一斉に掃除しました。